



清瀬駅周辺の 未来構想ビジョン

概要版

令和8(2026)年3月
清瀬市

未来構想ビジョンとは

清瀬駅周辺は、令和2(2020)年3月に策定した清瀬市都市計画マスタープランにおいて、まちの中心拠点として位置づけられており、商業・サービス施設などの様々な機能が集積するにぎわいのある中心市街地の形成を目指す必要があります。

今後は、まちの中心地・玄関口として機能の強化・にぎわい創出に向けて、ハード・ソフトの両面から取組の検討を行い、事業へと展開していくことが求められています。

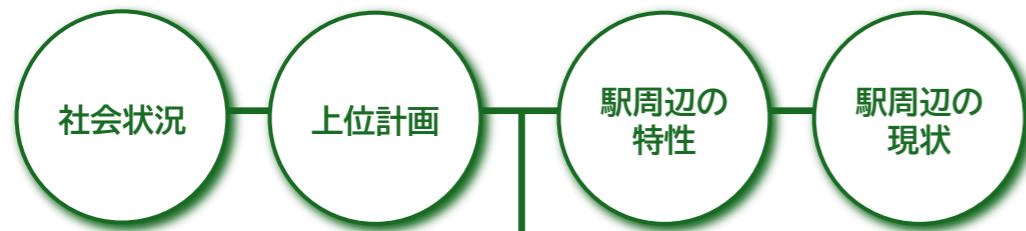
その実現に向けて、将来のまちの姿を明確にし、清瀬駅周辺のまちづくりをどのように進めていくか方針を示すために、『清瀬駅周辺の未来構想ビジョン』を作成しました。

清瀬駅周辺まちづくりの将来像

清瀬市ならびに清瀬駅周辺のまちづくりを取り巻く社会状況、上位計画における位置づけ、清瀬駅周辺の特性と現状を踏まえ、清瀬駅周辺のまちづくりの課題について整理しました。

そして、まちづくりの課題を解決するため、本ビジョンにおける清瀬駅周辺のまちの姿を下のように描きました。

清瀬駅周辺のまちを一体的に「駅まちきよせ」と呼称することにし、まちの「ホッとリビング」になることを目指します。



まちづくりの課題

- ① 多様な世代が暮らしやすい居住機能の維持・強化
- ② 清瀬らしい活力とにぎわいを生み出す商業・業務機能の維持・充実
- ③ 誰もがアクセスしやすくなる交通結節点機能の強化
- ④ 憩い・交流・活動を生み出す環境や居心地が良く歩きたくなる歩行者動線の確保
- ⑤ 安全・安心なまちなか環境の維持・向上
- ⑥ 農や自然に触れ合える空間や機会の創出
- ⑦ 官民学が連携しながらまちづくりを推進する体制の構築
- ⑧ 大学などの教育・研究機関や医療サービスの集積を活かしたまちづくりの推進

ゆとりや安心感を連想させる「ほっと」!

清瀬駅周辺のまちの姿

みんなで育む **ホッとリビング** 駅まちきよせ

にぎわいを連想させる「ホット」!

きよせのくらしの中心となる場所!

清瀬駅周辺のまちの姿

「ホと」には、駅まちきよせのにぎわいを連想させる「ホット」と、ゆとりや安心感を連想させる「ほっと」の2つの意味を込めました。「リビング」は、ひとりでも大切な人とでも、安全に、安心して生活することができる、くらしの中心となる場所です。

そして、これを実現させるためには「みんなで育む」ことが何よりも大切です。

「みんなで育む **ホッとリビング** 駅まちきよせ」というまちの姿を掲げ、にぎわいとゆとりが調和したまちづくりを推進していきます。

清瀬駅周辺まちづくりの方向性と取組

清瀬駅周辺のまちの姿を実現するために、①まちの拠点機能を強化する、②まちの交通機能を強化する、③まちの環境を維持向上するルールをつくる、④まちを動かす人や機会の仕組みをつくるの4つのまちづくりの方向性を決めました。また、それぞれの方向性ごとに、取り組むべきことを整理しました。

① まちの拠点機能を強化する

商業・居住・業務・宿泊・観光機能の適正配置
関連するまちづくりの課題：①②

安全・安心で誰にとってもやさしい施設整備・活動の推進
関連するまちづくりの課題：①②⑤

憩い・潤い・にぎわいのある広場・オープンスペースの確保
関連するまちづくりの課題：④

既存公共機能の維持活用や周辺公共機能との連動
関連するまちづくりの課題：①②④

清瀬市におけるまちの中心拠点として、多様な世代が暮らし、働き、訪れる、にぎわいのあるまちとなるように、都市機能の適正配置、安全・安心な施設整備や活動推進、公共機能の活用や連携、憩いや潤い、にぎわいの場の確保を図り、まちの拠点機能を強化します。

② まちの交通機能を強化する

駅前広場や都市計画道路の整備・更新とその事業推進
関連するまちづくりの課題：③

放置自転車や路上駐車対策の推進
関連するまちづくりの課題：③⑤

歩道整備などによるバリアフリーやユニバーサルデザインの推進
関連するまちづくりの課題：④⑤

駅の南北往來の安全性確保や利便性向上
関連するまちづくりの課題：③④⑤

清瀬駅周辺は多様な人が行き交い、様々な交通が通行する結節点であることから、今以上に市内外へ安全・円滑にアクセスしやすいまちとなるように、駅前広場や道路、歩道などの基盤整備、駅の南北往來の安全性・利便性向上、放置自転車や路上駐車対策を図り、まちの交通機能を強化します。

③ まちの環境を維持向上するルールをつくる

景観形成のルールづくり
関連するまちづくりの課題：④⑤⑥

老朽化した建物の更新誘導
関連するまちづくりの課題：⑤

都市基盤整備と一体化した沿道におけるにぎわいの誘導
関連するまちづくりの課題：④⑤

クリーンで健康につながる環境づくり
関連するまちづくりの課題：⑤

清瀬駅周辺ならではの魅力を感じられる資源を活かし、良好でゆとりある環境を形成したまちとなるように、景観形成に資する誘導、沿道のにぎわい誘導、老朽化建物の更新誘導、クリーンで健康につながる環境づくりを図り、まちの環境を維持向上するルールをつくりまします。

④ まちを動かす人や機会の仕組みをつくる

若い世代に魅力的で地域の発展に寄与するイベントの推進や主体的運営の促進
関連するまちづくりの課題：⑦⑧

商店街のにぎわい創出に繋がる創業・出店・利活用の促進
関連するまちづくりの課題：④⑦

ウォーカブルな空間などの創出・活用に向けた取組
関連するまちづくりの課題：④⑥⑦⑧

まちの主体・関係者連携を促す地域のプラットフォームの形成
関連するまちづくりの課題：⑦

清瀬ならではのやさしさあふれる多様な人々がつながり、交流や活動を行うことで活力やにぎわいを創出したまちとなるように、プラットフォーム形成、若い世代のイベント推進や運営促進、ウォーカブルな空間の創出・活用、商店街の創業・出店・利活用促進を図り、まちを動かす人や機会の仕組みをつくりまします。

清瀬駅周辺まちづくりのイメージ

清瀬駅周辺のまちの姿の実現に向け、まちづくりの方向性と取組のイメージを分かりやすく伝えるため、いくつかの取組例についてイメージ図に整理しました。

清瀬駅周辺のまちづくりのイメージ図



まちづくりの方針を「ネットワーク」と「エリア」で表現しました。

↔ 広域自動車ネットワーク
 ↔ 地域自動車ネットワーク
 ↔ 南口へのアクセス
 ↔ 歩行者ネットワーク
↔ 南北の歩行者アクセス向上
 ↔ 踏切の混雑緩和

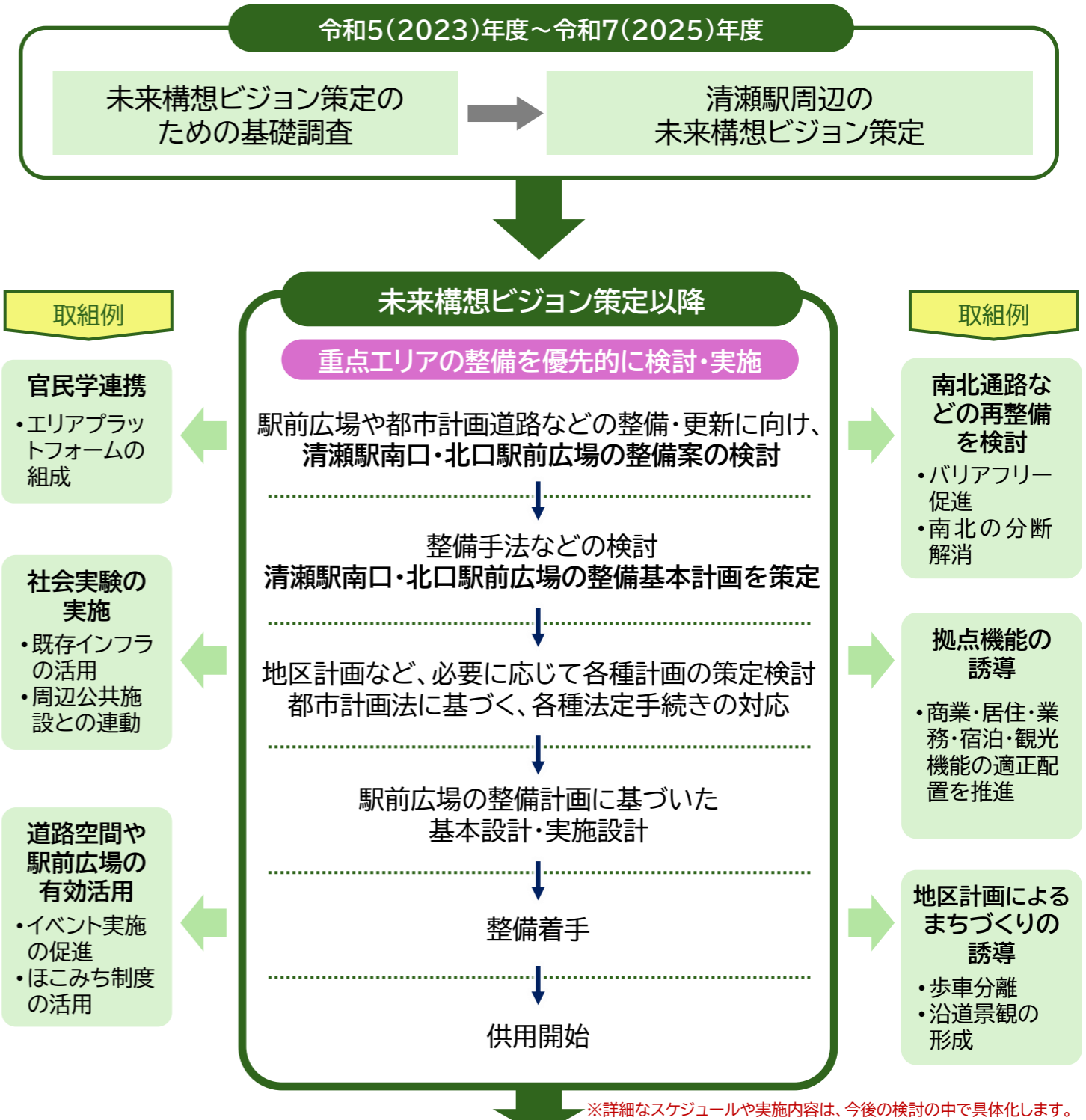
※詳細な実施内容や場所については、今後の検討の中で具体化します。

取組例

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 踏切の安全性確保 ② 病院・中央公園方面との連動 (回遊性の向上) ③ 街路における歩車分離の推進 ④ 道路空間をにぎわい創出に活用できる仕組みの導入推進 ⑤ 都市計画道路の整備推進 (南口へのアクセス動線の確保) | <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 駅前広場の整備推進やニーズに合わせた更新 ⑦ 南北の歩行者アクセス向上 駅周辺のバリアフリー化推進 ⑧ 拠点機能の適正配置を推進 ⑨ 憩い・交流・活動できる広場の確保 ⑩ 農や自然など地域資源との連動 (回遊性の向上) |
|---|---|

今後の進め方

未来構想ビジョンの策定を受けて、今後は重点エリアの整備を優先的に検討・実施していきます。また、それに続くように個別の取組についても順次検討を行い、清瀬駅周辺のまちの姿の実現を図ります。



※詳細なスケジュールや実施内容は、今後の検討の中で具体化します。

清瀬駅周辺のまちの姿

みんなで育む **ホトリビング** 駅まちきよせ

の実現へ

